



いわき いち
岩 脇 圭 一



いっ しん かい
一 津 会

新型コロナ禍後を見据えた津のまちづくりは

問 道路法改正に伴い本年7月から津駅周辺道路空間検討会が開催され、道路空間のみならず、津駅前周辺ビルの更新時期を見据え、土地利用を見直し、都市機能を充実させる議論が出てきているが、大門・丸之内・新町まで含んだ中心市街地の中長期的な在り方について、新型コロナ禍に伴う時代の変化を踏まえつつ、改めて議論を行うべき時期に来ていると思うが、どうか。

課題検討を行い、方向性を見いだしていく

答 津駅ビルや津センターパレスは、核ビルとして一定の役割を果たしてきたが、時間が経過し、今後の在り方を考えなければならない時期にきている。
一方で、アスト津のオフィスには一定のニーズがあり、周辺には宿泊施設も増えてきている。また、津新町駅周辺では都心居住のニーズが高まっている。
このような状況において、都市計画として、津インターチェンジ、大門・丸之内、そしてなぎさまちという軸を大切にしながらまちづくりを進めるとともに、マスタープランの議論を広げ、ご意見をいただきながら、中心市街地のビジョンを描いていかなければと考えている。

●その他の質疑・質問●

- 保育園・認定こども園における働き方改革について
 - 新型コロナ禍による現場への影響は
 - 業務改善に向けた取り組みは
 - 端末の配備について
- バス停の安全確保について
 - 「危険なバス停」への対応は



▲オフィスの集積を活かして、街なか居住を促進し活性化を



ふく た けい いち
福 田 慶 一



しみん
市民クラブ

学校における臨時休業の検証について問う

問 今年2月に政府が全国全ての学校に臨時休業を要請したことを受けて、津市教育委員会は市内全校の一斉休業を決めた。
休業により、教育を受ける権利を奪われた子どもたちが、学業の遅れを取り戻すことは容易ではなく、また、保護者の働き方の変更までも迫られた。
臨時休業に至る過程や、その実施における配慮および今後の対策についての考え方は。

子どもたちの学びの確保に向け対策を講じる

答 全国一斉の臨時休業が内閣総理大臣から要請されたことを受けて、児童・生徒の健康安全を最優先にする観点から、臨時休業の判断を行った。
その中で、臨時休業に向けた準備や児童・生徒の状況把握等に必要な期間を考慮して、独自に臨時休業期間を設定するとともに、監督者の確保が困難な家庭については、在籍校における緊急受け入れや放課後児童クラブとの連携を図ることで、児童の安全確保に努めた。
児童・生徒の健康安全を最優先に考えた上で、オンライン学習の環境整備など、子どもたちの学びを止めることのないような対策を講じていく。

●その他の質疑・質問●

- 職員倫理規程策定について
- 公共交通について
 - 他市町間における公共交通ネットワークの構築について
 - 公共交通網への民間活力の活用について



▲津市教育委員会は市内全校を一斉休業とした